

第24回さいたま市児童生徒作文コンクール実施要項

1 目 的 児童生徒が、自身の体験や思い、考えを文章に表現することを楽しみながら、思考力・判断力・表現力等の向上を目指す。

2 主 催 さいたま市教育委員会 さいたま市教育研究会 国語専門部

3 応募規定

(1) 応募資格 小・中学校児童生徒の自作自筆作品で未発表のもの、一人1点

(2) 応募作品のジャンル

A類：経験報告文、日記、手紙文、物語文、随筆

B類：説明文、紹介文、調査報告文、観察・見学記録文、意見文

C類：詩（短歌・俳句は含みません。）

※読書感想文は含まない

(3) 字 数 小・低学年 240字詰原稿用紙 3～5枚以内

小・中高学年 400字詰原稿用紙 3～5枚以内

中学校 400字詰原稿用紙 3～7枚以内

※詩は3枚未満でも可。

※3枚以上とは、原稿用紙の3枚目の1文字以上書いてあること。

※5枚以内とは、原稿用紙5枚以内におさまっていること。6枚目の1文字でも入れば5枚以内とはならず、不可。

※図、表、写真は用いない。

(4) 点 数（令和7年度と同様）

[小学校] A類、B類合わせて各校6点ただし各学年1点まで。C類は低・中・高学年各1点ずつ計3点まで。

1校合計9点まで

[中学校] A類、B類合わせて各校3点ただし各学年1点まで。C類各学年各1点ずつ計3点まで

1校合計6点まで

※校内審査に残った作品（各クラス1点）を把握しておく。（賞状を配布）

※同一学年において、A類とC類、またはB類とC類を同一クラスから応募することも可能。

※無理のない範囲での応募

4 締 切 令和8年10月20日（火）必着厳守

5 応 募 先 南区・緑区・浦和区・見沼区・岩槻区の小・中学校 → さいたま市立大牧小学校

西区・北区・大宮区・中央区・桜区の小・中学校 → さいたま市立土屋中学校

※封筒表に作文コンクール応募と明記。

※使送便のみで受け付けます。郵便での郵送、ポストへの投函は受け付けない

※使送便の運行休止日に留意する。

6 審 査 国語部各代表者による審査会を実施

7 入 選 数

・最優秀 A・B・C類、各学年より各1点（合計27点）

・優 秀 A・B・C類、各学年より各3点（合計81点）

・優 良 最優秀・優秀以外の応募作品全て

※作品数等の事情により、「該当なし」となる場合がある。

・入 選 校内審査に残った作品

※校内審査に残った作品にも賞状を配布する

※校内審査に残った作品（賞状配布の対象）は、各クラス1点までとする。A類・B類・C類は問わない。

※応募作品を提出したクラスは、校内審査に残った作品（賞状配布の対象）として選出できない。

（例）6年生4クラスの場合

・6年1組がA類、6年2組がC類に応募した場合

→ 校内審査に残った作品として、6年3組・4組から各1点選出

・6年1組がA類とC類の両方に応募した場合

→ 校内審査に残った作品として、6年2組・3組・4組から1点選出

※特別支援学級はクラス数に含まない。ただし、交流授業等で通常学級の国語に参加している児童生徒の作品を、クラス代表作品として選出することは差し支えない。

8 応募上の留意点

（1）原稿の書き方について

- ・1行目に題名、2行目に学校名・学年・氏名を書き、3行目から本文を書く。
- ・低学年で2行目までに記入できない場合は、欄外に学校名を記入する。
- ・詳細は別添資料を参照する。

（2）応募作品の提出について

- ・原本を提出する。（コピーでの提出は不可）
- ・応募作品は返却しない。各学校で、コピーをとって保管する。
- ・作品は、1点ごとに袋とじにしてホチキスで留める。
- ・作品の1枚目の右上に、学校番号及びジャンル（A～C）を朱書する。
- ・作品に学校名や学年の記載漏れが見られることがある。応募前に、必ず記載されていることを確認する。

（3）応募出品数一覧表及び作品応募票について

- ・応募作品とあわせて紙媒体で提出する。
- ・データは次の場所に格納しています。コピーして各学校で使用する。なお、上書き保存をしないように留意する。

Teams → さいたま市教育研究会 → 01_国語部 → ファイル「作文コンクール」

→ 「R8 児童生徒作文コンクール」 → 「応募票」

- ・データ内の「記入について」を確認の上、作成する。

（4）作品確認について

- ・自作自筆作品であることを学校で確認し、作品応募票の確認欄にチェックをつける。

9 令和8年度の日程

(1) 審査準備会

○期 日 10月28日(水)

○出席者 小・中学校の各区作文コンクール担当者、国語部幹事

○内 容 各校の作品一覧表と作品数の把握。学年、文種に分類。

(2) 審査会

○期 日 11月25日(水)

○出席者 国語部各校代表者、国語部幹事

○内 容 応募作品審査

賞状配布

優秀作品集についての説明(最優秀賞に選ばれた学校)

(3) 優秀作品集

○作成時期：令和9年1月～3月上旬

○配布時期：令和9年3月中旬ごろ(予定)

10 担当等

さいたま市教育委員会教育課程指導課 主任指導主事 泉 正人 TEL 829-1660

さいたま市教育研究会国語部副部長(児童生徒作文コンクール担当)

いろどり学園小学部・中学部 校長 米玉利 優子

さいたま市教育研究会国語部幹事(児童生徒作文コンクール担当)

土屋中学校 教頭 阿部 靖史 TEL 622-4611

大牧小学校 教頭 若林 克彦 TEL 874-3456